

佐伯通信

2017年5月(平成29)

第38号

発行
佐伯泰英事務所
担当/新潮社
禁・無断転載

「事故」を視る



伊勢神宮内宮 御手洗場(みたらし)にて
(写真提供…佐伯泰英事務所)

「タアタアーン!」というバースト音が耳を劈いた。ハンドルを握っていた娘が悲鳴を上げ、私は、「なんだ、これは」と叫びながらも同時に散弾のようにつぶてがわが車に襲いきた。黒い物体も宙を舞っていた。小田原厚木道路の上り車線を走

っているときのことだ。なにが起ったか分からぬままに停車が可能な東名海老名SAまで走り、止まった。対向車線の車のタイヤがパンクし、タイヤの破片が飛び散ったと思っていた。だが、車の前部を見るとオイルがあらゆるこちらに付着し、車体全体が傷ついていた。そこから車の販売店に電話すると、安全に車が走れることを確認した上で「オイルは拭って車をうちに」と命じられた。

その時点までは実に呑気だった。だが、車を整備士

に見せると被害が相当に大きなことが分かった。「これ、修理するのは百五十万以上かかりますよ」と聞かされたのも束の間、車載カメラを手エックしたスタップが、「りや、明らかな事故です。この証拠は警察に届けるのが先です」ということになった。

映像は、一瞬の「事故」の模様を克明に記録していた。下り車線の車がガードレールの支柱にぶつかり、前輪の右タイヤが直角に曲って前部を大きく破損しながら擦れ違つのが確かめら

れた。

翌日、娘が車を小田原分駐所まで持っていったら、「おお、きれいだな、こんな映像は滅多に見られないぞ」と白バイ隊員たちがしきりに感心したそうだ。相手の車は大破したようだが、大怪我はないとのこと。まずはよかった。保険も満額回答。車載カメラ、偉大なり。ジョージ・オーウエルも真っ青だ。

「佐伯通信」第39号は、8月4日刊行予定の『新・酔いどれ小籐次8 船参宮』(文春文庫)に入ります。

出版社からのお知らせ

新・酔いどれ
小籐次シリーズ

二か月連続
刊行記念

プレゼント
企画進行中!

7月6日発売予定『夢三夜』
8月4日発売予定『船参宮』
をお買い上げの方の中から抽選で、シリーズ特製グッズをプレゼントいたします。
ふるって応募ください。
詳しくは『夢三夜』船参宮の帯をご覧ください。
文春文庫

佐伯泰英先生講演会 潜入ルポ?



株新潮社 新潮文庫編集部
「古着屋総兵衛影始末」「新・古着屋総兵衛」担当

佐々木勉

新・古着屋総兵衛 第十四巻『にらみ』のお買い上げ、誠にありがとうございます。大黒屋矢来町支店の佐吉でございます。

昨秋、佐伯泰英先生が山形県鶴岡市の藤沢周平記念館のイベントで、「藤沢周平さんと私」と題して講演をされました。この講演録は『酔いどれ小籾次 決定版 第9巻 春雷道中』『同 第10巻 薫風鯉幟』（文春文庫）の巻末付録になっています。それはともかく、佐吉はその会場に潜入して参りました。

鶴岡には前日入りし、痛恨のミスを連発しながらも、10月30日朝、講演会場の荘内神社に潜り込むことに成功いたしました。

講演は二部に分かれていて、一部で藤沢文学への思いを語られ、二部は佐伯先生の波瀾万丈の来し方のお話でした。ああ、もう紙幅の都合が……。特設のホームページに書かせていただきました。「大黒屋矢来町支店」で検索してみてください！

お知らせ

これまで5月下旬と11月下旬に刊行しておりました「新・古着屋総兵衛」シリーズですが、次の十五巻は12月下旬の刊行になる予定です。今後とも何卒よろしくお願ひします。

近刊・作品情報はこちらでもチェックできます。

<http://www.saeki-bunko.jp> 佐伯泰英 ウェブサイト

検索

2017年の「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が下記出版社の協力のもと発行いたします。

(株)新潮社、(株)文藝春秋、(株)角川春樹事務所、(株)双葉社、(株)光文社

佐伯泰英 / 近刊のお知らせ

9月

14日

《双葉文庫》
空也十番勝負 青春篇
『恨み残さじ』

※発売日は予定です。

8月

4日

《文春文庫》
新・酔いどれ小籾次
9 『船参宮』

〔佐伯通信〕第39号が入ります。
〔初版の初回出荷分にはのみ挟み込み〕

《文春文庫》酔いどれ小籾次〔決定版〕

6月8日

9月5日

10月6日

『野分一過』『冬日淡々』『新春歌会』

7月

6日

《文春文庫》
新・酔いどれ小籾次
8 『夢三夜』

『**完全密命**』全26巻

6/14

《巻之二十四》「羽切 潰し合い中山道」

著者の原点にして金字塔

7/12

《巻之二十五》「覇者 上覧剣術大試合」

堂々完結

同時発売

《巻之二十六》「晩節 終の一刀」